

■■■ 第2回ふりかえりシートまとめ（平成30年11月11日分） ■■■

1. 今日の議論で良かったこと

- ワークショップのあり方、目的を再確認出来たことをふまえて地域の皆さんと意見交換が出来たことは良かった。
- そもそも、児童館・高齢者施設西川荘の実態をご説明をお聞きできたこと、西区、そして坂井輪地区全体を広い視野で見るといふ、改めての事が、今後に変に役に立つ。
- みんなが思っていることを話し合えた。
- 様々な意見を聞いたこと。
- たたき台があつて良かったのか悪かったのか。グループで新しい案がたくさん話せて良かった。ABC案どれも、もどかしい感じの案でたくさん激しい意見が出ていたが、ファシリテーターが柔らかくまとめて発表してくれて、さすがと思いました。そもそも論、児童館、西川荘、ひまわりクラブ、市立保育園などなど、世代を超えて共有出来て良かった。
- 前向きな意見が出て良かったと思う。
- まず、第1回から第2回の展開が運ばれていなかった。つまり、何をしぼって議論すべきが分からなかった。
- 市の現在の考え方、方針を聞いて考えを深めることができたと思う。
- 自分にはない視点を聞いて勉強になった。
- いろいろな評価のしかた、考えを聞くことができ、大変勉強になった。全体的に広い見方で現実が見えてこない部分もあった。
- 自分の住んでいる地域で、全く知らない施設についての状況を知ることが出来て良かった。
- 西川荘の廃止理由が分かった。
- 今、何を話し合えば良いのかが分かりづらかった。
- 地域の実情について、いろいろお話が聞けて良かった。
- 各グループごとの討議の方向性の違いが終わりのグループ発表により、理解できた。
- 参加者の方々が、これからの人達のためにより良いものを残そうとされている姿勢がみれた。
- 自分で考えつかない意見をいろんな立場の方から聞けて良かった。皆さん子供たちのことを考えていた。
- 具体的な話（保育園は民間でも。児童館はひまわり、保育園、新通とは一緒にしないなど）が出てきた。皆さんそれぞれ各自色々考えて、色々な案が出てきた。
- 資料を読んだだけではわからないことがある。学校の余裕教室の開放をするとは言っているが、夜は使えなかったり制限がある。問題を投げかけないとわからないままだったので、聞けて良かった。
- 前回からの疑問で有ったこのワークショップの目的・意図が明確に理解されなかったが、市担当からの資料データの説明に因って、「結論を出すことを要求している訳でなく、資料データの意見のみを聞くだけであって、結論まとめ上がった結論を求めているものではない。」事が分かりました。が、2班のファシリテーターは、意見をまとめてファシリテーターの描いた方向へとまとめ様とする事は、納得しがたい。しかし、この様な状況を作り上げるスキルは、大いに参考になった事で行政の姿を改めて実感できた事は、良い経験になりました。

2. 内容について言い足りなかったこと

- A～Cの案に、細かい項目に特化して、掘り下げていってもいいのではないかと。会議として分科会として、やっても良いのかと。
- 対策案について前回議論を踏まえてはいるが、当地域の人々等を考慮した新設等の対策がもっとあつても良かったのではないかと。
- 勉強して次回に望む。公共施設の利用定義を作してほしい。使用できる人、用途、無料、有料のちがいなど。
- 坂井輪地域だけに限らない施設もあるので、他地域とのバランスも考えて移転計画を進めていただきたい。
- 会の最初に出た、市として、全体として、いつまで、どのようにこのような会を全区域で進めるか、見通しが無いということは大きなショックであった。このような重要な前提事項は、この会のスタート時点で説明すべきである。
- ファシリテーターの方が時間の中でうまくまとめてもらい、形になったので良かった。
- 児童館はなくてもいい。
- 空家活用、高齢者の方の居場所確保について。
- 現在の施設を長期的に如何にすべきかの議論が中心となっていたが、新たに総合的（複合的）施設の建設する

方向の議論ができなかった。

- 低コストで…は充分理解できるが、それで魅力あるもの、安全・安心ができるものが、どれだけ実現できるか。
- 皆さんからも出ていたが、話し合いの大前提は将来性とコストありきではなく、前向きな方向で。旧新潟市と黒崎町、横越村、亀田町、西川町等が新潟市になったための施設がぶりや差などの説明や提示（黒崎荘と西川荘が近いなど）西区の坂井輪地区だけの話ではなく、新潟市の大きなくくりでの説明、予算、設備の考えも聞かないと、ここだけでは話し合いのできないことも…。
- 新通ひまわりクラブ第一の解体ではグラウンドは広くならない。グラウンドに押しせまって来ている校舎を少しでも解体すれば、広がる。
- 坂井輪地区の公共施設現状の維持管理費等において、市平均の経費より少ないのに、統合・廃止へと進める方向へ持っていく事が、理解出来ない私を分かって貰えなかった事が言い足りなかったと思った。今回の内容は、短時間で議論するには、余りにも少なく施設の現況・構成等の内容を理解した中で、参加したかった。私以外の参加者は専門家の方々多いのに立场上発言が限定されていた事は残念で、本当は言いたい事が有るのではと感じました。

3. 進め方について言いたいこと

- おおむね良かった。
- ファシリテーターの方の進行、まとめが上手であり、スムーズに進行していった。今後の、私自身の参考になった。
- 問題が出たとき、その利用率等の回答がなく検討してほしい。
- 前回のふりかえりは、もっと簡単で良かったと思う。その分討議時間を増すべきであったと思う。場合によっては、全体3時間を4時間へ。
- 進め方について具体的に話してほしい。話が前後してしまう。
- 対策案全体、評価案全体について、という感じだったので、それぞれ項目ごとに意見を述べていっても良かったのかなと思う。ABC案では現実的でないと思われる事も多かった。
- 学校関係者を入れることはできないか。
- 良かったと思う。
- 案を3つ出しての話し合いだったが、それをきちんと判断できる力をもっているのは、本当にごくわずかの人だと思う。それも時間が限られた中で行うので、無理があると感じた。
- 児童施設について主に話し合いをするなら、あえて西川荘を入れない方が話し合いはスムーズだったと思う。
- とても良くまとめていた。
- ちゃんとまとめられるのがすごいと思った。
- 従来通り、市の考え方等の説明、グループ討議、発表等の進め方で良い。
- まとめ方が簡潔で分かりやすく良かった。新通小の余裕教室の活用の仕方についてもふれながらも進めてみてはどうか。
- テーブルをもっと大きくしてほしい。（時間があつという間に終わるくらい議論を行えた。）これまでワークショップをした他の地区と違い、この地区だけで完結しない部分があり、西区全体、市全体のものとする必要があるのでは。
- ワークショップは盛んに意見を出す場であってもいいと思うが、人の話はきちんと聞くべきだと思った。自分の言いたいことを言って、人の話を聞かないではいけない。ファシリテーターの方がまとめるのが大変だと思った。
- 残すところ、後1回でどの様になるか非常に関心がありますが、公共施設の今回の問題は、ハードの面とソフトの面とが十分に理解されていないと答えを容易に出す事は出来ず、ソフト面とハード面との関係も規制・異種行政とのつながりも有り一連に改革していく事は障害が多すぎます。改革するには、時間が必要ですが、トップダウンで行う事も選択肢の一つだと思います。最後に言いたい事として、今後の人口減からと外国人の多用が進むと思いますが全ての公共施設の1箇所集中エリアが理想と思います。ネガティブの気持ちをポジティブに以下の点を提議いたします。
 1. 子供の元気を倍増…坂井輪地区全体一斉の競技・公演の開催
 2. 働く青年層の交流…同上
 3. ママさんクラブ…同上
 4. 老人の活用…同上の支援・街中パトロール・通学時の交通保護・庁内美化作業等なんとと言っても坂井輪地区がもっと活気有る地区になる事が一番です。